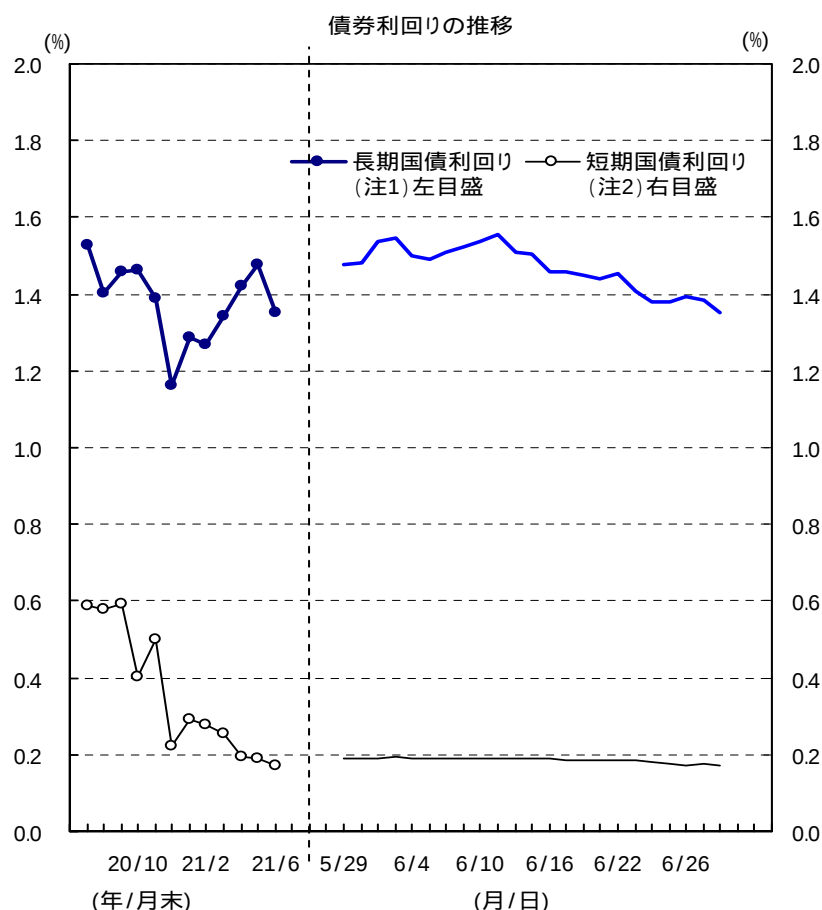


平成 21 年 6 月の公社債市場

(1) 流通市場

10 年国債の利回り (注 1) は、月初については、先月末に引き続き、国債増発による需要悪化への懸念や景気回復への期待感を材料に緩やかな上昇基調を示し、11 日には 1.555% と昨年 10 月以来の水準となった。しかし、中旬以降は、米国長期金利の低下や日米株価の下落などから、景気回復への期待感が後退したことや、国債の大量償還に伴う一時的な需給環境の良化を背景に低下へと転じ、月末に向けて利回りはじりじりと低下 (債券価格は上昇) した。月末は前月比 7bp 減となる 1.350% と 3 ヶ月ぶりの 1.4% 割れとなった。

国庫短期証券の利回り (注 2) は、特段の材料がない中、月中を通じて 0.2% 台を若干下回る水準で推移した。月末時点では、前月比 2.3bp 減の 0.171% となり、5 ヶ月連続の低下となった。



(注 1) 長期国債 (10 年) 直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の
平均値 (単利)。

(注 2) 国庫短期証券 (3 か月) 直近発行に係るものの公社債店頭売買参
考統計値の平均値 (単利)。

[平成 21 年 6 月の主なトピックス]

日 付	トピックス
6 月 1 日	米大手自動車メーカー 米連邦破産法 11 条の適用を申請
6 月 3 日	財政制度等審議会 与謝野馨財務相に提出した建議において、「我が国の財政状況は、一連の景気対策を講ずる前から、主要先進国の中で最悪の水準にあったが、今回の景気後退に伴う税収減及び一連の景気対策により、更なる財政悪化が見込まれ、我が国財政は極めて危機的な状況にある」と表明。
	バーナンキ米連邦準備理事会(F R B)議長 下院予算委員会において、「政府の債務増加が長期金利上昇につながっており、財政赤字削減に取り組む時期に来ている」旨の発言。
6 月 4 日	与謝野馨財務・金融・経済財政相 参院財政金融委員会において、「日本の財政構造は金利上昇に対して極めてぜい弱であり、金利が上昇すると財政の健全化だけでなく、経済そのものを破壊してしまう」旨の発言
6 月 5 日	米国非農業部門雇用者数(5 月) 前月比 34.5 万人減少。 減少幅は前月より、17.4 万人縮小。
6 月 1 1 日	内閣府四半期別 G D P 速報発表(2 次速報) 平成 21 年 1 - 3 月期 G D P について、前期比マイナス 3.8%、年率換算マイナス 14.2%と発表。それぞれマイナス 4.0%、マイナス 15.2%と発表された 1 次速報値より上方修正。
6 月 1 2 日	東京株式市場 日経平均株価が 8 ヶ月ぶりに終値で 1 万円台を回復。
6 月 1 5 日	ニューヨーク州製造業業況指数(6 月) 発表 6 月のニューヨーク州製造業業況指数はマイナス 9.41 と、前月のマイナス 4.55 から悪化。 米国株式市場は 1 ヶ月ぶりの大幅下落。翌日の日経平均株価も前日比 286.79 円下落。
6 月 1 6 日	日本銀行 金融政策決定会合開催(15 日 ~ 16 日) 全員一致で現状の政策金利を据え置くことを決定。
6 月 1 7 日	日本銀行 金融経済月報発表 景気判断は、前回の「悪化を続けているが、輸出や生産は下げ止まりつつある。」から「わが国の景気は、大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある。」に上方修正。
6 月 2 2 日	世界銀行 世界経済見通し発表 各主要国の 2009 年成長率見通しを引き下げ。日本の 2009 年の成長率見通しは前回の -5.3% から -6.8% へ下方修正。
6 月 2 4 日	米連邦準備理事会 連邦公開市場委員会開催(23 日 ~ 24 日) 政策金利を 0 ~ 0.25% に据え置くことを決定。 長期国債及びモーゲージ担保証券の買い入れ規模については現状維持を表明。 米景気の悪化ペースが減速している兆候が見られると表明。
6 月 2 9 日	経済産業省 5 月鉱工業生産指数速報発表 5 月の鉱工業生産指数は 79.2 となり、前月の 74.8 より 5.9% 増加。6 月の生産予測値がプラス 3.1% と前回のプラス 2.7% より上方修正。
6 月 3 0 日	総務省 5 月完全失業率発表 5 月の完全失業率は 5.2% となり、前月に比べ 0.2 ポイント上昇。

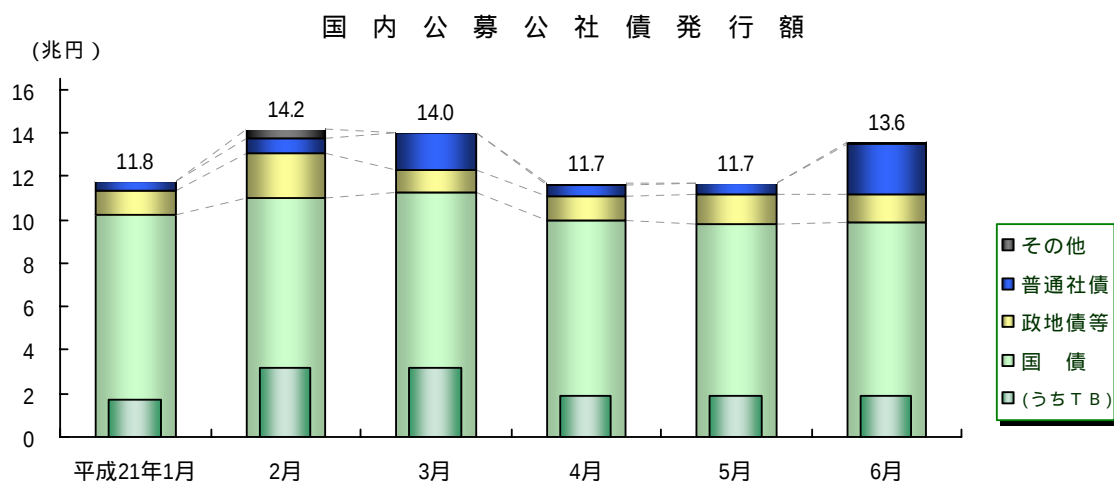
日 付	長期国債（注１）		短期国債（注２）	
		参考統計値		参考統計値
5月29日	300回債(発行済)	1.420	29回債	0.194
6月1日	↓	1.481		0.189
2日	301回債(22日発行)	1.535	↓	0.189
3日		1.544	32回債	0.194
4日		1.500		0.192
5日		1.489		0.188
8日		1.511		0.188
9日		1.525	↓	0.188
10日		1.535	34回債	0.190
11日		1.555		0.190
12日		1.511		0.190
15日		1.505		0.190
16日		1.460	↓	0.190
17日		1.460	35回債	0.184
18日		1.451		0.185
19日		1.441		0.185
22日		1.455		0.185
23日		1.406	↓	0.184
24日		1.378	36回債	0.179
25日		1.381		0.176
26日		1.394		0.173
29日		1.384		0.175
30日	↓	1.350	↓	0.171

（注１）長期国債（１０年）直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

（注２）国庫短期証券（３か月）直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

(2) 発行市場

平成 21 年 6 月の国内公募公社債発行額は、13 兆 5609 億円となり、前月比 1 兆 8810 億円の増加 (16.1%増) となった。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。
 2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。
 3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。
 4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

国債

- ・ 国債の発行額は前月とほぼ同水準の 9 兆 8818 億円となった。

発 行 額 (億円)	平成21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
国 債	102,065	110,226	112,526	99,878	97,627	98,818	1,191
(うち 割引短期国債)	(17,000)	(32,000)	(32,000)	(19,000)	(19,000)	(19,000)	(0)
(うち 個人向け国債)	(5,046)	(0)	(0)	(3,208)	(0)	(0)	(0)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

地方債、政府保証債及び財投機関債等

- ・ 前月に比べて、地方債、政府保証債の発行額は増加したものの、財投機関債、地方公社債が減少したため、合計額としては前月比 7.6%減となる 1 兆 2955 億円となった。

発 行 額 (億円)	平成21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
地方債	5,115	7,034	6,534	4,530	5,795	5,957	162
(うち 住民参加型)	(35)	(84)	(234)	(80)	(80)	(307)	(227)
政府保証債	4,300	7,485	2,721	2,650	3,550	4,800	1,250
財投機関債	1,490	5,738	1,428	3,550	4,527	2,079	2,448
地方公社債	200	501	30	0	150	120	30
計	11,105	20,758	10,712	10,730	14,022	12,956	1,066

普通社債

- ・普通社債の発行額は合計額としては前月よりも1兆7755億円の増加となる2兆2905億円となり、大幅に増加した。

発行額(億円)	平成21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
普通社債	4,990	6,280	16,632	5,780	5,150	22,905	17,755
(うち 個人向け社債)	(150)	(300)	(8,030)	(650)	(100)	(2,592)	(2,492)
電力債	850	700	200	700	1,300	600	700
一般事業債	2,440	3,500	8,750	2,680	1,750	13,682	11,932
NTT・JR・JT債	1,100	0	200	1,000	400	3,100	2,700
銀行社債	600	2,080	7,482	1,400	1,700	5,343	3,643

- (注) 1. 一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。
 2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

円建外債、C B及び資産担保型社債

- ・円建外債は3銘柄が発行され、1ヶ月ぶりの発行となった。

発行額(億円)	平成21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
C B	0	0	0	0	0	0	0
資産担保型社債	0	0	6	0	0	0	0
円建外債	0	4,404	300	500	0	930	930
計	0	4,404	306	500	0	930	930